

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
大和郡山市	大和郡山市立平和小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

1. 基本的生活習慣の確立
2. 規範意識の向上
3. 学習態度の確立

2 取組の概要

1. あいさつリレー運動

- ・ 校長をはじめ教職員・児童の代表が校門に立ち、登下校してくる子どもたちにあいさつをします。その際「おはようございます」「さようなら」と書かれたのぼりを児童が持ちます。

あいさつリレー運動は1クラスあたり1週間を担当し、全クラスがあいさつに立ちます。最初は恥ずかしそうに小さい声で「おはようございます」といっていた子どもたちも、慣れるに従って率先してのぼりを持ち、大きな声であいさつができるようになりました。また、こちらからの「おはようございます」に「おはようございます」とあいさつを返していた子どもも、自分から進んで「おはようございます」「さようなら」と言えるようになりました。地域の方やボランティアで立っただいてくださっている方にも進んであいさつをする子が増え、大変喜んでいただけました。



下校の様子

2. 登下校見守りたい

- ・ 児童の登下校の際、危険箇所にはPTA・地域ボランティアの方に立哨していただき、安全確保を図っています。また、年2回学校ボランティア意見交流会をPTAと共催し、ボランティアの方々の意見や感想・登下校の際の子どもたちの様子をうかがうことで、安全指導や生徒指導に役立てています。

3. お話ころりん



お話ころりん

・ 地域の読み聞かせボランティアの方に来校していただき、毎週火曜日、朝の読書の時間に低・中・高学年ごとに教室で読み聞かせをしていただいています。その際には低学年では机・椅子を後に片付け、床に敷物を敷いてお話を聞かせていただくなど子どもたちの距離を近くするなどの工夫を凝らして集中してお話を聞ける環境作りをしています。

4. 阿礼祭

・ 「古事記」の伝承者として知られる稗田阿礼（ひえだのあれ）を祀り、現在は童話の神様として親しまれている賣太神社（めたじんじゃ）が校区に鎮座しています。毎年8月16日に行われる阿礼祭は、84年間続いている地域に根ざした由緒あるお祭りで、稗田阿礼の遺徳を偲ぶ祭です。

児童文学者の久留島武彦氏が、アンデルセンに匹敵する「話の神様」は稗田阿礼が最もふさわしいと、全国各地の童話家の協力を得て1930年（昭和5年）に始めたものです。そこで踊る阿礼さま音頭は、子どもたちは勿論、お母さんやおばあちゃんも昔踊った踊りです。今年度から学校コミュニティ部を創設して、いろいろな場面で地域と共に歩いていく学校を目指している本校として、来年度から、運動会でこの踊りを全校児童は勿論、保護者・地域の方々・園児等といっしょに踊っていけるように計画も進めています。



阿礼祭

5. 語り部童話会

・ 元来、阿礼祭の一環として行われていた行事が、秋に移ったものです。今年は10月18日に行いました。



語り部童話会

奈良県童話連盟の方が12名来てくださり、全学級に2人ずつ入って昔のお話を語っていただきました。最高齢の方は91歳でした。すごくお元気でわかりやすくお話をしていただきました。子どもたちが書いてくれたお礼の手紙を渡すとみなさん、とても喜んで下さいました。

来年度、6年生は賣太神社に行ってお話を聞く予定です。